

大分県病院事業中期事業計画（第四期）取組評価について

令和 4年 2月16日
大分県病院事業経営改善推進委員会 評価結果

1 全体評価

令和2年度の業況は、収入が19,104百万円に対し費用は18,713百万円で、純利益は391百万円（計画値 ▲157百万円）となっている。これは、新型コロナウイルス感染症の流行による受診控えなどにより患者数が減少するとともに、「感染症対策」や「精神医療センター開設」で費用が増加したものの、「NICUの増床」や「外来化学療法室の拡充」などにより重症度の高い患者が増え、診療単価がアップしたことで前年度並みの収益を確保できたことに加え、新型コロナウイルス関係の補助金交付を受けられたことによるものと考えられる。
新型コロナウイルスの収束の見込みが立たず、先行きは不透明なところもあるが、引き続き収益確保に向けた取組を強化するとともに経費の削減に努め、地域における急性期医療の担い手として、より高度な医療の実践に向けて取組を進めることを期待する。

2 個別評価

大項目	病院局自己評価				委員会評価				コメント
	I	II	III	IV	I	II	III	IV	
小項目									「S」：小項目の評価全てがII以上かつIが1項目以上 「A」：小項目の評価80%がII以上 「B」：小項目の評価でIVが1項目以内 「C」：小項目の評価でIVが2項目以上 「I」：特筆すべき進捗状況にある。 「II」：良好な実施状況にある。 「III」：概ね年度計画どおり実施している。 「IV」：計画までの実施ができなかった。
1 地域医療構想を踏まえた役割の明確化					Ⓢ	A	B	C	
高度急性期、急性期医療機能の担い手として、地域の医療機関等との連携を図り、紹介・逆紹介を推進し、患者の早期の在宅復帰を目指し、入院時から退院支援に力を入れる。									
1) 紹介率、逆紹介率の向上									
プラン上の目標指標									
2年度	目標値	実績値							
紹介率	83.2%	91.7%	I	Ⓜ	III	IV	I	Ⓜ	III
逆紹介率	120.9%	160.1%							IV
コメント	目標に対して紹介率は8.5ポイント、逆紹介率は39.2ポイント上回っており、良好な実施状況にある。								
2) 地域医療機関等の連携									
プラン上の目標指標									
2年度	目標値	実績値							
診療情報提供料等を算定する割合	40.0%	47.2%	I	Ⓜ	III	IV	I	Ⓜ	III
コメント	目標を7.2ポイント上回っており、良好な実施状況にある。								
3) 在宅復帰の推進									
プラン上の目標指標									
2年度	目標値	実績値							
在宅復帰率	80.0%	94.3%	Ⓜ	II	III	IV	Ⓜ	II	III
コメント	目標を14.3%上回っており、特筆すべき状況にある。								
2 経営の効率化					S	A	Ⓜ	C	
医療の質の向上等による収入の確保や薬品費や医療材料費等の経費の節減に積極的に取り組む。									
1) 急性期医療の重点化									
プラン上の目標指標									
2年度	目標値	実績値							
一日あたり入院患者数	434.4人	415.5人							
一日あたり新外来患者数	87.4人	63.7人							
平均在院日数	11.5日	10.8日	I	II	Ⓜ	IV	I	Ⓜ	III
病床利用率	86.4%	79.3%							IV
入院診療単価	71,595円	74,180円							
外来診療単価	25,188円	28,054円							
看護必要度	29.0%	33.5%							
診療情報提供料等を算定する割合	40.0%	47.2%							再掲
在宅復帰率	80.0%	94.3%							再掲
コメント	「一日当たりの入院患者数」、「一日当たりの新外来患者数」及び「病床利用率」は目標を下回ったものの、その他の項目は目標を上回っており、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮すれば、良好な実施状況にある。								
2) DPC分析による経営戦略の強化									
プラン上の目標指標									
2年度	目標値	実績値							
平均在院日数	11.5日	10.8日	I	Ⓜ	III	IV	I	Ⓜ	III
コメント	目標より0.7日短くなっており、良好な実施状況にある。								
3) 診療報酬制度への戦略的な取組									
プラン上の目標指標									
2年度	目標値	実績値							
医業収支比率	99.1%	96.7%	I	II	Ⓜ	IV	I	Ⓜ	III
経常収支比率	100.9%	102.6%							IV
現金保有残高	5,612百万円	5,955百万円							
※有価証券（譲渡性預金）含む。									
コメント	「医業収支比率」は目標を下回ったものの、その他の項目は目標を上回っており、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮すれば、良好な実施状況にある。								
4) 費用削減への取組									
プラン上の目標指標									
2年度	目標値	実績値							
材料費対医業収益比率	31.8%	33.6%	I	II	Ⓜ	IV	I	II	Ⓜ
コメント	外来化学療法室の拡充により薬品費が増えたことで目標を1.8ポイント下回ったが、概ね計画どおり実施できている。								